



ORPHEUS

## Three MONO V2



その優雅でコンパクトな外装デザインに秘められた、このパワーアンプの持つ洗練されたポテンシャルは特筆に値します。

Three MONO V2に実装された高度なテクノロジーは、如何なるシステムに於いても素晴らしい効果を齎す事でしょう。

強力な高電流トランジスタ回路は、威厳さへ感じさせる深く力強い低域、また洗練された真空管アンプの持つ輝き潤う中域、滑らかな高域、そして音楽の持つ暖かさを融合させています。

優雅で低く抑えられたエンクロウジュアに収められたそのパフォーマンスは、超ショート・シグナルパスを最大限に活用した物です。

パートランスは注意深く選別された各パーツへの影響を排除する為に、熟考を重ね決定されたポジションに設置されています。

前モデルに対しより高い熱効率を達成する為にヒートシンクを大型化。同時に 30W の出力アップを達成しました。

### POWER LOOP(パワーループ回路)

従来の入力電圧に併せて出力電圧を決定する増幅動作では、逆起電力に左右されて正確な出力動作を得る事が出来ません。

これに対し ORPHEUS 独自の Power Loop テクノロジーは、電圧と電流の双方をモニターし、入力電圧と出力電圧の比例値が崩れた場合は瞬時に電流/電圧の直接補正を行い、出力電圧を最適化します。

出力はスピーカのインピーダンス変動や逆気電流に左右される事無く、絶えず最適な動作を保証します。

### キャパシタンス・マルチプレイヤー回路

小容量のコンデンサを並列に使用する事でインピーダンスを下げる利点が得られます。しかし、基板の制限等で容量を十分に確保出来ないという難点も無視出来ません。

キャパシタンス・マルチプレイヤー回路は、この相反する課題を解決する為にトランジスタの動作からヒントを得て開発された ORPHEUS 独自のサーキットです。

Three MONO に搭載される  $48,400 \mu F$  ( $2,200 \mu F \times 22$ ) のコンデンサ容量は、この回路により電氣的容量は  $20,000,000 \mu F$  まで引き上げられるのです。



## ■仕様

最大出力		180W RMS
入力感度		1V RMS(8Ω)
ボルテージ・ゲイン		+34.40/+30.70dB @ 8Ω +27.10/+28.70dB @ 4Ω +17.20/+24.70dB @ 2Ω
歪み率	1W / 8Ω = 0dB	THD+N @ 0dB : 0.007% THD+N @ -30dB : 0.070% THD+N @ -60dB : 1.700%
	30W / 4Ω = 0dB	THD+N @ 0dB : 0.006% THD+N @ -30dB : 0.016% THD+N @ -60dB : 0,350%
ダイナミック・レンジ	1W / 8Ω = 0dB	95dB
	30W / 4Ω = 0dB	109dB
S/N 比	1W / 8Ω = 0dB	95dB
	30W / 4Ω = 0dB	109dB
残留ノイズレベル	1W / 8Ω = 0dB	46μ V RMS(A-weighted)
	30W / 4Ω = 0dB	38μ V RMS(A-weighted)
消費電力		27W(アイドル時)、350W(最大)
寸法(W x D x H / mm)		440 x 370 x 70(74/スパイク装着時)
重量(kg)		12

